たわわ

TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

発行　2006年2月28日

６４号

「地域で生きる障害者を支える会」会報

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL　045-562-3600

FAX　045-562-5991

身の引き締まる早春

新しき出発へ向けて

まだ寒さが残る中、ミモザの花があふれんばかりに美しく咲く季節の到来です。この卵の黄身のような柔らかな黄色はなぜか心を和ませてくれます。

ここのところ大きな事件や、日本の体制に根幹があるような重大な問題が次々と表れましたが、そんな醜聞を覆い隠すように国民をわかせたオリンピックの終盤。光り輝いている金メダリストの笑顔に、癒された人も多かったこととおもいます。転ばないように滑るのが精一杯で、子供の頃から「上手な人っているものだなー」などと、運動神経の違いを感じて来た私も、彼女たちのかぎりない努力の毎日に感じ入っています。

さて、もうすぐもうひとつのオリンピック、トリノパラリンピックが開催されます。日本からも４０人の選手と、介助やメカニック担当、トレーナーなどの役員50人の人たちが派遣されます。横浜リハビリテーションセンターでも機器の研究に関わっています。

今年は９回めになるパラリンピックですが、生き生きと躍動する障害者たちの姿は、どんな風に報道されるのでしょうか....。チェアスキーを駆って挑む姿が、私たち皆を励ましてくれることをいのっています。

— ＮＰＯ法人への道　③ —

臨時総会開催される

秋から準備してきた特定非営利活動法人設立への手続きも少しずつ進み、２月２０日に、いよいよ設立の意思表示をかためる、臨時総会（設立総会）がもたれ、当日は、遠方からも駆けつけた会員を含め２５名（委任状７）が、出席しました。

はじめに、これまでの準備段階についての報告が行われ、続いて次のように審議がおこなわれました。

設立趣旨書案、８ページに亘る**定款案**を逐一丁寧に読み上げて審議し、顧問の条項も入れることで承認。

入会金及び会費の件については、これまで通り年会費 2,000 円に、賛助会費は一口 2,000

円、団体会員は、一口 10,000 に決まりました。尚入会金はなしです。

設立初年度（18年）及び翌19年度の2年間の事業計画書及び収支予算書については、これまでの活動を踏まえた計画が提案され承認されました。

特定非営利活動促進法第2条第2項第2号及び同法第12条第1項第3号に該当することの確認の件(この会が特定の宗教活動や政治活動を目的とするものでないこと。また暴力団の支配下にあるものでないことなど)についても確認。

役員の選任の件等についても、提案どおり承認されました。役員はほぼ現行のままの申請としましたので、設立後の総会において役員（理事）及び顧問は追加申請する予定です。
以上の決定に基づき３月９日にもう一度県の担当者の指導を受け、申請手続きに入ります。
尚、今回以降の総会議事録は、議長および議事録署名人２人の押印による確認がされます。

当日は、午後１時半から５時までと長時間にわたる会議となりましたが、ひとつひとつ検討する中で、今後への意志も確かめられたことと思います。新しい同志が増えますよう是非皆さんもお知り合いをおさそいください。

皆さんも共に支えて

新吉田西部町内会　会長

手塚和夫

私は現在町内会長を勤めています。また、よつばホームの運営委員会もお受けしております。よつばホームは第１と第２と２館あります。入居している障害者の皆さんは活動ホーム『しもだ』内においてできる仕事をして頑張っています。

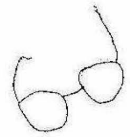
入居者に対して職員の方々がスキンシップを大切にしているその姿を見て素晴らしいと思いました。

この人達を支援するために「地域で生きる障害者を支える会」もございます。是非とも私からもお願い申し上げます。皆様この会に入会して頂きそして入居者が安心して生活できるよう、ご協力をお願いします。

私ごとになりますが、今さら気づいた事、お恥ずかしいが今自分があるのは、先祖と父、母のおかげであると、あらためて、先祖に感謝しております。健康に生まれて幸せと思います。そして普通の生活ができる喜びです。そのように思いますと、入居者の親を思いますと、複雑な気持ちで、いっぱいになってしまいます。

皆んなが、一丸になって、協力して頂き、よつばホームの障害者の皆さんが、楽しく安心して、暮せるようにと願っております。

最後に皆々様のご協力よろしくお願い申し上げまして、挨拶といたします。



めがねのこえ

皆さんは　東横インのニュースを見てどう思いましたか。
このごろは　バリアフリーを　考える　集りがあったり　役所でも　一生懸命ちからを　入れているのに　あんな事件がおきました。
私が　一番いやな気持ちになったのは、病気のある人や、身体の不自由な人たちのことで、皆で助けたり　気を配って欲しい人たちなのに「やっかいな人たちだ。ほんの少しの人のために」という考え方をしていたことです。　駐車場などは　どこかに見付けることは　出来るのかも知れませんが　点字ブロックをはずしたり、部屋をなくして倉庫にしてしまうなどと言うのはとても許せないと思います。
こういうことは　東横インだけではないかも　知れません。
この前　愛知県渥美半島の親戚をたずねた時　ちょっと買い物をするので、スーパーやお店の入った　少し大きな　ショッピングセンターに寄りました。
私は　入り口に障害者の車イスマークがはってあったので「ここでトイレを済ませておいたほうが　よいかな」と思って車をおりました。中へ行って　お掃除をしていたおばさんに　障害者用のトイレをたずねますと、一言で『ない！』と答えました。しかたがないので　いくつかの和式の中から　よさそうなところを選んで使うことになりました。私は　何とかなりましたが　困る人はたくさんいると思います。「これがほんとに　看板にいつわりありネ！」と後で母と大笑いしました。

東横インの話は　横浜で見つかったのが始まりですが、「横浜には　障害者や応援する人がたくさんいるのかも知れない」と思いました。その後から　けっきょく　他の不正もたくさん見つけられることになりました。 いつも書くのですが　健常者も、障害者や　お年寄りと　同じ心で見て、考えて欲しいと思います。誰もが住みよいところを作ろうと言う気持ちでないとよくならないと思うのです。

大原　友子

お知らせ

春うららコーラスチャリティーコンサート

日時：４月　１６日（日）開場１３：００　開演１３：３０
開場：横浜ラポール・シアター
主催：コーラス唱の会・コールたちばな
共催：よつばホーム運営委員会・地域で生きる障害者を支える会
＊チケットは一枚　１，５００円です。お電話でお受けします。

今月のよつばホーム

よつばホーム

今月は４人の就寝前の過ごし方を簡単にまとめてみました。
消灯時間は各自日によって異なりますが、１番早いのは次郎さんです。夕食後は居室でＴＶゲームをしたり、職員が朝食の下ごしらえをするのを眺めたりしてからコーヒーを作って飲み、９時過ぎくらいに再び居室に戻っていきます。

藤田さんはヘルパーさんに抱っこしてもらったり、音楽を聞いたりして、１０時頃居室に入ります。

勢津子さんは食後に入浴することが多いのですが、出てきてからは時間を決めてビーズをしたり、ヘルパーさんや職員が肩などのマッサージをしたりして１１時前に消灯になります。
花岡さんもビーズをしたり歌番組を観たりして、１０時前後に居室へ。最近は就前に足浴をして体を温めてから横になっています。ちなみに職員は、夜の空いた時間か１１時以降にその日の様子を記録してから寝ます。

第２よつばホーム

第２よつばの玄関先に植えたチューリップとクロッカスの球根が寒さに耐えてやっと可愛い芽を出し始めました。春が近づいてきてるんだなぁ・・と感じてきます。まだ寒いですが。

さて２月１１日（土）は入居者の山田宏さんの誕生日でした♪♪少し早めの９日にお祝いをしました。誰かが誕生日を迎える度に恒例のように交わされる“○○さんは今いくつ？”って会話。。ヘルパーさんの年齢を聞いてビックリ驚くことや、年はとりたくないねぇ～という感想をし、夕飯をみんなで食べて

から・・電気を消して・・カメラを準備して・・　HAPPY BIRTHDAY ～☆☆おめでとう！！　主役の宏さんはおいしそうにケーキを食べていました。実は職員も、入居者と同様ケーキが大好き。後でおいしく頂きました。

そして、当日の１１日は土曜ということもあり、散歩を兼ねてよつば１館目へお昼を食べに行きました。そこでも、花岡さんや高畠さんに「誕生日おめでとう～」とお祝いされ、たくさんのたこ焼き（＾＾）で誕生日をお祝いしました。
もうすぐ第２よつばも２才の誕生日を迎えます。これからも入居者と一緒に楽しく、たくさんの年月を共にしていきたいと思います。